

イエスの涙と怒り

シリーズ～福音の力～

2020/11/22

ルカによる福音書19章41～44節

エルサレムに近づき、都が見えたとき、イエスはその都のために泣いて、言われた。「もしこの日に、お前も平和への道をわきまえていたなら……。しかし今は、それがお前には見えない。やがて時が来て、敵が周りに堡壘を築き、お前を取り巻いて四方から攻め寄せ、お前とそこにいるお前の子らを地にたたきつけ、お前の中の石を残らず崩してしまおうだろう。それは、神の訪れてくださる時をわきまえなかったからである。」

エルサレムのために泣かれたイエス

- **実はエルサレムに入っていなかった！**
 - 先週はエルサレムに入城したかのように話したが
 - 子ロバのエピソードは「オリーブ山の下り坂にさしかかられたとき」(36)の出来事として描かれている
- **いよいよエルサレムに入ろうとされたとき**
 - 「エルサレムに近づき、都が見えたとき、イエスはその都のために泣いて」
 - 人々は周囲で大騒ぎしているのだが…
- **エルサレムを目指して進んでこられた**
 - 「預言者がエルサレム以外の所で死ぬことは、ありえないからだ。」13: 33

なぜエルサレムを見て泣かれたのか

- **エルサレムに待ち受ける悲劇を予見して**
 - 「やがて時が来て、敵が周りに堡壘を築き、お前を取り巻いて四方から攻め寄せ、お前とそこにいるお前の子らを地にたたきつけ、お前の中の石を残らず崩してしまうだろう。」
- **エルサレムが攻められ、破壊される理由**
 - 「もしこの日に、お前も**平和への道をわきまえていたなら**。しかし今は、それがお前には見えない。」
 - 「それは、**神の訪れてくださる時をわきまえなかったから**である。」

なぜエルサレムを見て泣かれたのか

- エルサレムに待ち受ける非劇を予見して

◦ 「やがてエルサレムを、お前
を取
るお
残ら
ここにい
の石を

イエス様にはエルサレムの人々が自分を十字架につける姿が見えていた！

- エルサレムに
◦ 「もしも、
たなら。しかし、
由
まえてい
ない。」
◦ 「それは、神の訪れてくださる時をわきまえなかったからである。」

エルサレムの悲劇

• ユダヤ戦争の勃発

- ◻ 紀元66年、カイサリアにおけるユダヤ人の殺害に端を発して、暴動が各地で起こる

• ネロ帝による鎮圧

- ◻ シリア属州の軍隊との戦いにユダヤ人が勝利
- ◻ ネロ帝が3個師団を送って鎮圧に向かわせる

• エルサレム陥落(紀元70年)

- ◻ ウェスパシアヌス帝の息子ティトゥスによりエルサレムは包囲され、143日の戦いの後陥落
- ◻ 交渉人でもあった歴史家ヨセフォスは、この戦いでユダヤ人110万人が死に、10万人が捕虜となり奴隷にされた、と書いている

ティトゥスの凱旋門のレリーフ



82年、ローマ帝国第11代皇帝ドミティアヌスにより、先代皇帝でドミティアヌスの兄でもあるティトゥスのエルサレム攻囲戦等での戦功を称えるため建てられた。

ルカによる福音書19章45～48節

それから、イエスは神殿の境内に入り、そこで商売をしていた人々を追い出し始めて、彼らに言われた。「こう書いてある。『わたしの家は、祈りの家でなければならない。』ところが、あなたたちはそれを強盗の巣にした。」毎日、イエスは境内で教えておられた。祭司長、律法学者、民の指導者たちは、イエスを殺そうと謀ったが、どうすることもできなかった。民衆が皆、夢中になってイエスの話に聞き入っていたからである。

神殿での怒り

- **神殿で商売していた人々を追い出す**
 - 「それから、イエスは神殿の境内に入り、そこで商売をしていた人々を追い出し始めて…」
 - 「売り買いしていた人々を追い出し始め、**両替人の台**や**鳩を売る者**の腰掛けをひっくり返された。」マルコ
 - **彼らはいけにえ用の動物を売ったり、神殿で捧げるためのお金を両替したりしていた**
- **神殿は「祈りの家」でなければならないのに**
 - 彼らに言われた。「こう書いてある。『わたしの家は、祈りの家でなければならない。』ところが、あなたたちはそれを強盗の巣にした。」(引用イザヤ56:6)

怒りの本当の理由

- イエス様にとって神殿は「父の家」
 - 12歳の時の過越祭りで:「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが**自分の父の家**にいるのは当たり前だということを、知らなかったのですか。」(2:49)
- 「祈りの家」を「強盗の巣」にした！
 - エルサレムに向かってきたのは「**父の家**」に帰るためでもあった
 - そこで静かに父と語り合おうと思っていたのに、父の名を使って金儲けが行われていた！

神殿で教えるイエス様

- **神殿の境内を占拠するイエス様**
 - 「毎日、イエスは境内で教えておられた。」
 - 父の家が再び汚されることがないように
- **イエス様を殺そうとする指導者たち**
 - 「祭司長、律法学者、民の指導者たちは、イエスを殺そうと謀ったが、どうすることもできなかった。」
- **イエス様の話に夢中になる民衆**
 - 「民衆が皆、**夢中になってイエスの話**に聞き入っていたからである。」
 - この民衆が数日後にイエス様を「十字架につける！」と叫ぶのだが…

私たちの神殿は？

- **今、私たちの心こそが神殿**
 - 「あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。」コリント一3:6
- **「神の訪れ」をわきまえているだろうか**
 - 私たちの心を訪れて下さっているイエス様を、心の王座にお迎えする準備はできているか？
- **私たちの心を「強盗の巣」にしていないだろうか**
 - 「祈りの家」であるべき心を金勘定の場にしていないだろうか？